

平成30年度 地域貢献研究助成費 実績報告書

平成31年3月28日

報告者	学科名	デザイン工学科	職名	准教授	氏名	西川 博美
研究課題	歴史的町並みの空き家活用による地域再生についての研究 —陣屋町足守「旧薬局・野崎邸」の活用—					
研究組織	氏名	所属・職		専門分野	役割分担	
	代表	西川 博美	デザイン工学科・准教授	都市史・建築設計・まちづくり	研究総括	
	分担者	朴 貞淑	デザイン工学科・准教授	福祉住環境	研究補助	
研究実績の概要	<p>陣屋町足守まちなみ保存地区の再生・活性化を、空き家のリノベーションによって実現させることを目的とした。年々空き家が増加する地区であるが、地域住民と外部の人が、再生された民家を共有することで、地域活性化につながる施設としての空き家活用の模範事例となることを目指し取り組んだ。</p> <p>リノベーションの対象とした空き家は、旧薬局・野崎邸である。この空き家は、もともとは薬局であるため、間口が通りに大きく開いた構造となっている。そして通りから奥に向かって住空間が続き、店と住居が一体となった「店屋」の形式でもある。その通りに面した薬局部分は、古くからこの地域に継承されてきた建築的特徴を持っている。こうしたことから、この店屋が、足守の歴史地区の中で、地域の人や観光客が気軽に立ち寄れる場として再生・活用される価値があるものであると言える。</p> <p>画案の作成、所有者と主な使用者への提案、リノベーション工事は、本学科都市・デザイン領域の3年生と、大学院生で実施した。計画は、この再生された店屋が、今後この地域に及ぼす影響を踏まえ、①低予算であること、②活用に持続性があること、③汎用性を持たせることが重要視された。そこで実際に行った主な内容は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> I. 玄関扉と格子をアルミ製から木製に変更する II. 古びた薬棚を飾り付ける III. 人々が集えるようベンチとカウンターを設置する IV. 低い天井を取り外し古い梁を露出させる V. 照明器具で演出する VI. 暖簾の設置 					

※ 次ページに続く

<p>研究実績 の概要</p>	<p>実施スケジュールは別添の表のとおりである。5月に3年学科の選択授業「都市環境調査」の履修生で現地見学を行い、6月は主にリノベーション案の作成に時間を割いた。その内容を店屋の持ち主である小林様と、今後の主な利用者となるももぞの学園の職員の方々にプレゼンテーションを行い、両者から案の同意が得られた(6月29日)。7月は主に、家具やカウンターといった木製品の制作と、現地での解体作業を行った。10月に電気工事を行い、照明器具を取り付けた。また、学部共通の選択科目「まちづくり論」の履修生48名が、この店屋・野崎邸の活用方法の提案を行い、ももぞの学園の職員に、履修生全員がプレゼンテーションを行った(11月8日)。その中で、とくに効果的と判断した暖簾のデザイン案を採用することとなり、造形デザイン学科3年生1名が、本事業に途中参加することとなった。木製建具の制作は建具業者に依頼したが、塗装は学生が行った。こうした後期期間に実施した作業は、3年ゼミ生3名と院生2名で実施することとなった。また、工事の途中で山陽新聞の取材を受け、12月9日日曜版に掲載、更に、12月26日はRSKラジオの生放送収録を受け、本取り組みや、まちづくりの活動についての学生の考えが掲載、放送された。</p> <p>こうした作業の途中も、野崎邸は、あしもり酒場や、足守マルシェ、手作り教室、雛人形の展示場など、様々な用途で地域の人たちに活用されていた。実際にリノベーション工事には携わらない地域の人たちも、そうしたイベントが内部を見学するきっかけとなり、リノベーションの途中経過を観察することとなった。これは結果的に、この空き家だった店屋が地域の人たちにより親しまれる施設として再生されることに効果的となった。</p> <p>野崎邸のリノベーションは、老朽化してしまった空き家を、どのようにして再生させるのかを、持ち主の思いを汲みながら、学生が一から考えた。そして、そのリノベーション工事のほとんどを学生の手作業で行い、完成させることとなった。その途中においても、この店屋が地域の人たちに受け入れられ、活用されていくことを、参加した学生たちが確実に実感することができる、非常に有意義な活動となった。</p> <p>今後しばらくは公民館の管理下で利用が図られていくことになるが、さまざまな世代の地域の人々に親しまれ、観光客も立ち寄れるような、陣屋町足守の拠点となるよう、継続して活用方法について助言・検証が必要だと考えている。</p> <p>尚、「H30年度岡山市学生チャレンジ事業」にも採択されたため、そこからも資金を使用した。岡山市役所で、11月3日に中間報告会、2月17日に最終報告会が実施され、学生がこれらの活動内容を報告している。</p>
<p>成果資料目録</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実施スケジュール 2枚 ・竣工写真 2枚 ・「H30年度岡山市学生チャレンジ事業」最終報告会 発表パワーポイントのコピー